

PowerEdge™ シリーズ

April / 2007



Server

4ソケット 6800 / 6850 / 6950

2ソケット 2900 / 2950 / 2970 / 1950 / 1955 / 1900 / SC1430 / SC1435

1ソケット 840 / 860 / SC440

Storage Server (NAS)

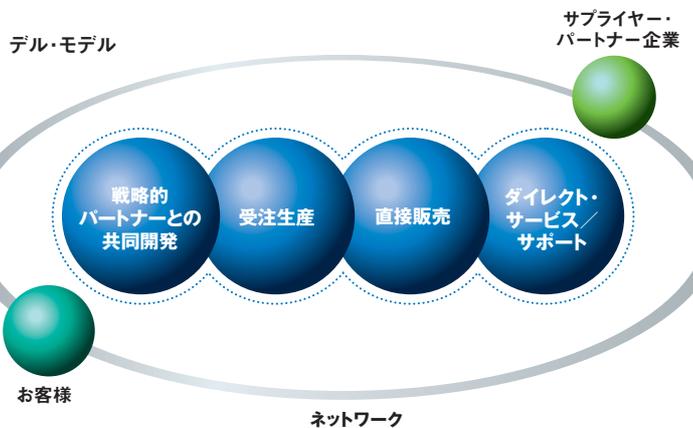
2ソケット 2900 / 2950

1ソケット 840



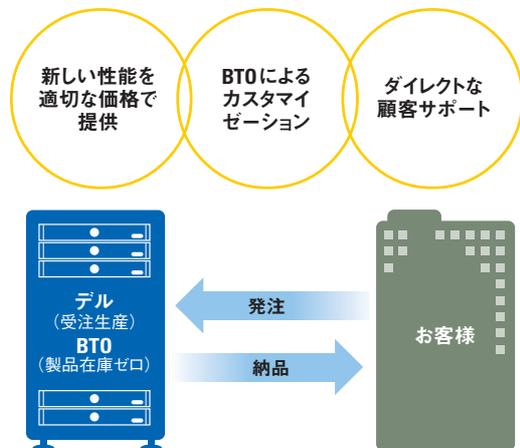
世界が注目する あらゆるビジネスの原点「デル・モデル」 より高い顧客満足度のために。

「デル・ダイレクト・モデル（デル・モデル）」は、デルが顧客志向の企業理念に基づいて開発した独自のビジネスモデルです。その基本思想は、メーカーのデルがお客様とのダイレクトな関係を築くことにより、製品の品質・性能・価格・納期・サービスなどすべての面において、常にバリューをお客様に提供することです。これは、1984年のデルの創業以来、デルのあらゆる事業活動の根幹であり、今日のデルの原動力となるものです。近年は、IT技術の高度な活用によってデル・モデルの効率性がさらに加速。サービス提供のスピード、より高度なカスタマイズへの対応、優れたサプライチェーン・マネジメントによりあらゆる側面でお客様の満足度を高めています。



大きな顧客メリットをもたらす デルのBTO (Build To Order) システム

デルはすべての製品をお客様の希望にあわせてカスタマイズします。1台の購入でも、大量購入でも、お客様は必要とする機能や仕様だけを装備した製品を購入でき、不要なものにコストを支払う必要はありません。

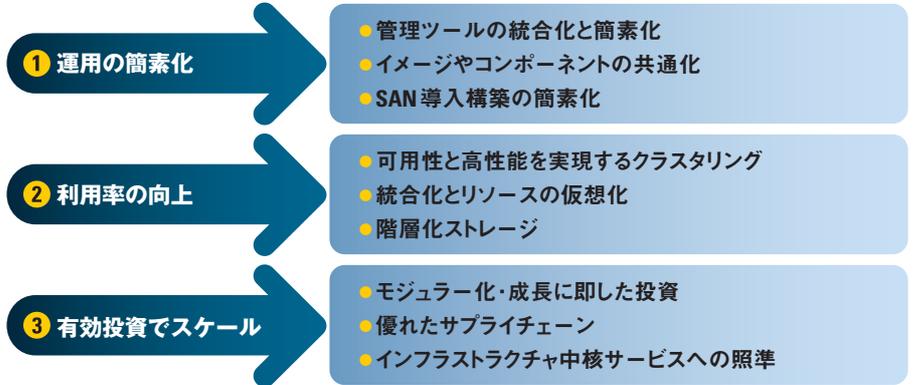
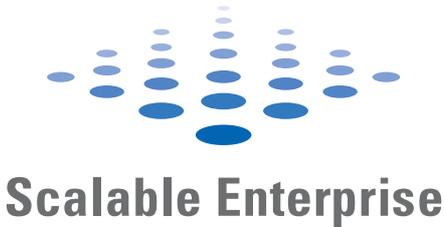


スケーラブルエンタープライズ～効率的な構築、運用管理、スケールはデルのPowerEdgeサーバで

デルのエンタープライズ戦略

ITインフラストラクチャーは様々な局面を経て、標準化に向かっています。

デルではその標準化に照準を当てつつ、また、3つの重要なIT/ビジネス上の課題を主眼に、いかにして意味のある価値を創出していかかを追求し、その解答をお客様に還元していくことをミッションとしています。



デルが提唱するスケールアウト型のシステム構築をいかにして実現するか。

そして、いかにして有効投資を行うか、ビジネス拡大の支援をどのように可能にするか。

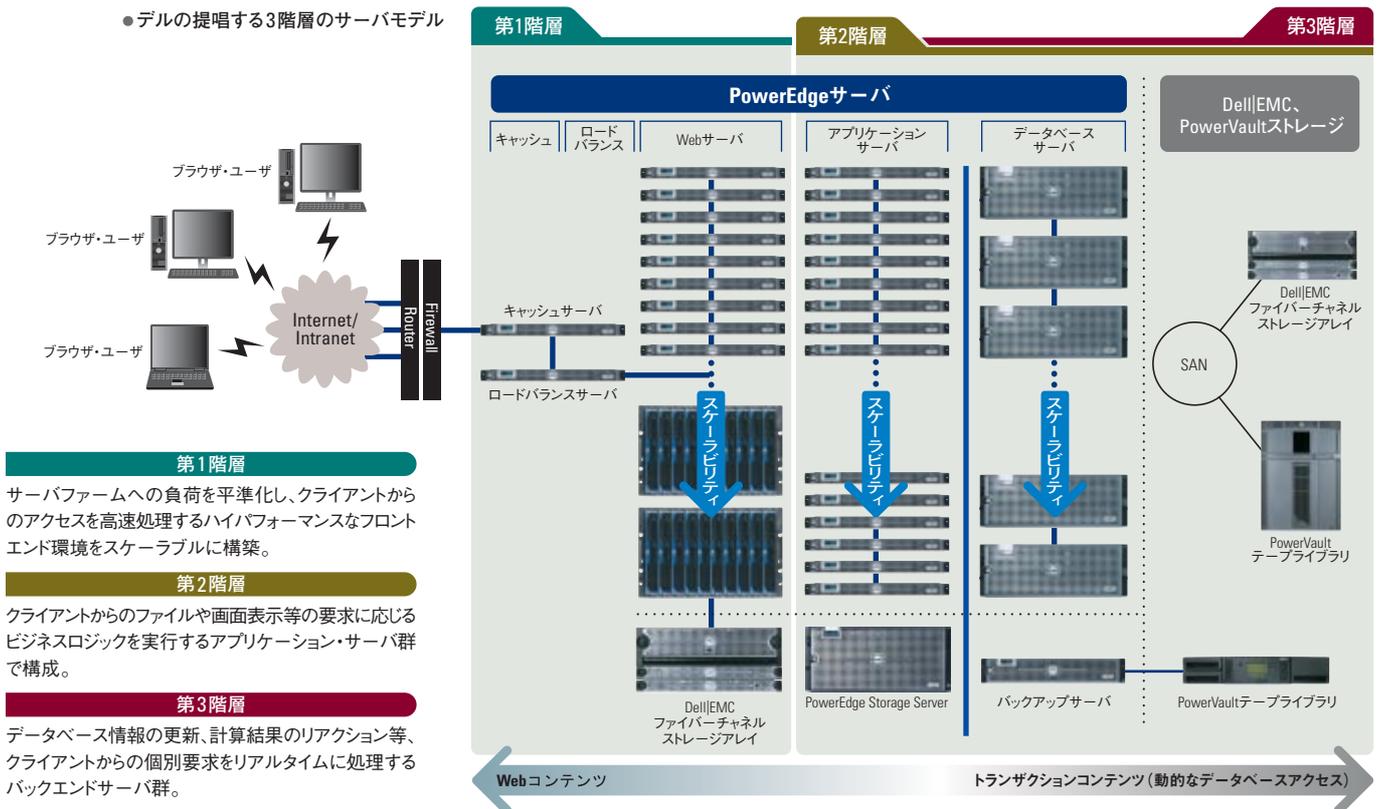
- システム環境の柔軟性
- 秀逸な費用対効果
- タイムリーな業界標準の最新技術の導入

これらのコアとなる条件を満たしつつ、今後の業務・ビジネスの拡張に即してIT環境をスケールさせていく、それを可能にするのがデルのエンタープライズ製品群です。

x86サーバによる3階層サーバモデル

デルは、お客様が最適なサーバシステムを合理的に構築し、高速レスポンスと高信頼性、効率の良いネットワーク運用を実現する「3階層サーバモデル」を提唱。3階層すべてに対応するPowerEdgeシリーズをはじめ、ストレージソリューションとしてDell|EMCシリーズ、PowerVaultシリーズ、そしてネットワークソリューションとしてPowerConnectシリーズをサポート。必要な分だけ導入し、コンピューティング・リソースが必要になった場合にまた必要な分だけ追加していくという、理想的かつ経済的なスケーラビリティによるシステム構築が可能です。

- デルの提唱する3階層のサーバモデル



最新版のマルチコアテクノロジーに対応し、業界標準の最新技術を搭載した PowerEdge サーバシリーズ。

PowerEdge サーバシリーズ

最新版のマルチコアテクノロジーに対応し、業界標準の最新技術を搭載したラインアップ。

デルは、部門単位の要件からインフラストラクチャの中核となるデータセンターまで、様々なITおよびビジネス支援環境でコアとなる要素の標準化に100%照準を合わせ、IT環境の改善と拡張、業務拡張、ビジネス拡大を、投資面でもプロセス面でも、より効率的に、より効果的にスケールアウト型のシステム構築でサポートします。

IT課題の克服

- リソースを最大化して、ビジネスを最優先に推進する
- IT部門が日々直面する課題、業務やビジネスが今、または将来において直面する課題
- 業界標準最新技術採用によるメリット、性能面・機能面での秀逸性
- 多様なフォームファクタによる物理的な制約への柔軟な対応性

これら課題克服が必要とされる場面で、デルのエンタープライズソリューションを是非ご検討ください。



PowerEdge サーバのデザインコンセプト

デルのPowerEdgeサーバのデザインは、次のようなゴールの達成を支援すること、コンセプトを満たすことをベースになされています。

複雑性の回避とアップタイムの最大化

- 導入、運用管理に費やすコストを最小化し、複雑で手間のかかる事態を回避しつつ、高い処理能力を確保する
- ハードウェア・ソフトウェア面で共通性を持たせ、オペレーション・メンテナンスを簡素化
- デルのダイレクトモデル、コンタクト先がデル1箇所だけで済むことによる容易な購買と展開
- サーバ・ストレージ・ネットワークからサービスまでのエンタープライズ製品群とアライアンス・パートナーシップに基づくトータルソリューションの提供

コストの最小化と有効投資

- 必要な時に必要なものだけに投資、そこから最大限のリターンを得る
- ハードウェアは必要な構成・仕様で、システム拡張や処理能力の増強が必要になった時に、スケールアウト
- まとまった投資を過剰にするのではなく、必要なソフトウェアやサービスに費用を割り当てて有効活用

ハイライトトピックス

業界標準最新技術がもたらすハイパフォーマンス

- 最新版マルチコアテクノロジー、主要なエリアにも最新技術を導入
- 業界標準の最新テクノロジーに対応、パフォーマンス向上にとどまらず、サーバ利用率の向上、複雑性の回避も
- 望まれる改善と課題の解決を提供するプラットフォーム、PowerEdgeサーバシリーズ
- スケールアウト戦略の新展開はこの新しいサーバ群で

アップタイムの最大化

- ソフトウェア(イメージ含む)だけではなくハードウェアのデザインにモデル間で共有性を持たせ、管理運用上の障害となる複雑性を極力排除
- システム管理、エンタープライズプロフェッショナルサービスとサポート、ISVとのパートナーシップを更に強化し、ソリューションを一層充実
- ダウンタイムの最小化、アップタイムの最大化、リソースのストリームライン、次のステップへの有効な投資を可能に

2ソケット新世代第9世代サーバ: PowerEdge 2950/2900/1950/1900/1955/SC1430

- 第9世代だけにとどまらず、その先も見越した長期的な視野に立った基本コンセプト
- ユーザのニーズやIT部門・企業が必要とする機能・要素を満たすことを主眼にデザインされました
- PowerEdge 2950/2900/1950間ではBIOSやファームウェアイメージを共有、運用管理がよりシンプルに
- ファイバーチャネルHBAを工場でプリインストール、SAN構築にかかる統合や導入がより簡便に

1ソケット新世代サーバ: PowerEdge 860/840/SC440

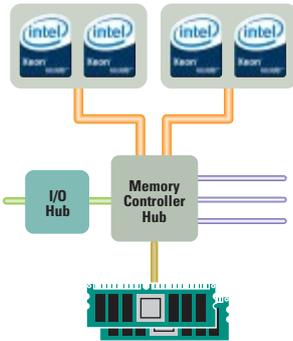
- SAS/TOE/VT等、最新技術を採用
- PowerEdge 860/840間ではBIOSやファームウェアイメージを共有、運用管理がよりシンプルに
- また、PowerEdge 860/840には上位モデルと同様OpenManageが標準添付、リモートを含むサーバ群の統合管理が可能

インテルアーキテクチャとAMDアーキテクチャ

2ソケットサーバの場合のコアアーキテクチャ

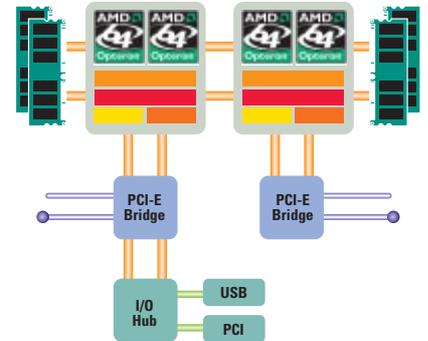
インテルテクノロジーとFSBアーキテクチャー

- デュアルコア/ダイの2つのダイを1パッケージに搭載したクアッドコア
- 業界標準64ビットテクノロジー
- 2本の独立したフロントサイドバス (FSB: Front Side Bus)、最大1333MHz
- ダイ当り4MB、CPU当り合計8MBのL2 キャッシュ
- 広帯域Fully Buffered DIMM (FBD) メモリと優れたRAS
- ハードウェア仮想化
- PCI Expressで広帯域幅と低レイテンシー
- インテル® I/OATで高速化と優れた応答性



AMDテクノロジーとダイレクトコネクトアーキテクチャー

- モノリシックデュアルコア
- 業界標準AMD64テクノロジー
- AMDのダイレクトコネクトアーキテクチャ (Direct Connect Architecture) によるメモリとI/Oアクセスのボトルネック解消
- HyperTransport™テクノロジーによる広帯域かつ低レイテンシでの相互接続
- AMD-Vによるハードウェア仮想化

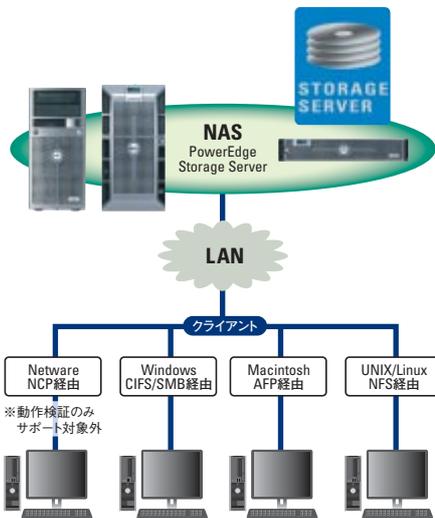


PowerEdge Storage Server: 低コスト・高性能・高管理性 NAS

デルのNAS、PowerEdge 840/2900/2950 Storage Serverが幅広くユーザのニーズをカバーします。設置方法によりタワー型、ラックマウント型、エントリーからミッドレンジ・パフォーマンスまで、要件に応じたハードウェアラインナップからご選択いただけます。

デルのNASを導入するメリット

新規の導入設定と運用管理に手間と時間をなるべくかけずに運用開始できる、コンプライアンス遵守・業務やビジネスの規模の成長に伴い多くなるデータ量に柔軟に対応できる、拡張性が確保されたハードウェア設置方法や活用規模など、様々な要件に見合うモデルがラインナップ (タワー/ラックマウント、エントリー/ミッドレンジ/パフォーマンス)。NASをデル製にしておけば、外部ストレージを増設する必要がある場合、デルの営業が窓口として適切なストレージ製品をご案内します。



こんな場合に PowerEdge Storage Server の NAS を導入すると便利

- 運用中にあちらこちらに散在して増殖していったファイルサーバを統合して運用管理したい
- NASを導入しているけれど、内蔵ストレージ領域に空きがなくなってしまった。でもサービスを止めるわけにはいかないし、部門に割り当てるストレージ容量も大きくしなくてはならない
- マルチプラットフォーム環境にNASを設置したいけれど、プラットフォーム毎の細かい設定は避けたい
- 部門や支店向けのファイルサーバを開設したい、または、それらサイトを複製したい
- SAN接続のためのNASゲートウェイを開設したい

Windows® Storage Server 2003 R2 x64 をプリインストール

開梱から運用までの時間の削減と、簡単に運用開始が可能

工場出荷時にプリインストールされたOSが構成済み。アプライアンスOSとしてMMCコンソール内にFile Serverの機能が纏められており、簡単にセットアップが可能。構成から設定完了までの時間を大幅に削減でき、運用開始までにかかる時間が最小限に。

- NAS専用OSのメリットその1: CAL不要、マルチプラットフォーム対応でコスト削減に高い貢献度**
- NAS専用OSのメリットその2: 必要とされる機能を必要とされる場面で駆使、ミッドレンジ・パフォーマンス向けチューンナップ**

サーバと共通の包括的管理ツールDell OpenManage™による総体的な運用コスト低減化に貢献

システム管理業務の標準化と自動化がITリソースとコストの低減化と生産性の向上には不可欠。そのタスクを可能にするのがDell OpenManage。PowerEdgeサーバで提供されているものと同じ管理ツールをPowerEdge Storage Serverでも提供。全く同じツールを使えるから、ツールの操作に新たな手間やリソースがかかることはありません。導入から運用管理まで包括的にサポートし、DRAC5やIPMI2.0準拠のBMC (Baseboard Management Controller) によるリモート管理も可能。運用管理のサービスソフトウェアとの連携にも柔軟に対応。

●簡単に運用開始

電源コードの接続

ネットワークへの接続

アプライアンスOSだからセットアップは短時間で完了
※参考画面は英語版管理コンソール

ITニーズを満たすPowerEdgeサーバシリーズの主な用途

ITプロジェクト別お勧めモデル

仮想化・統合化



ラック	2U	2950
ラック	1U	1950
ブレード		1955
タワー/ラック	5U	2900
ハイエンド	4Uラック	6850
ハイエンド	4Uラック	6950

仮想化でサーバ1台のリソースを分割し、複数の仮想サーバをその内部に構築。これにより既存のIT資産の利用効率を飛躍的に向上させることができます。仮想化はプロセッサ、メモリ、I/Oといったエリア全般に亘ります。

データベース(バックエンド)、ERP、CRM



ハイエンド	4Uラック	6950
ハイエンド	4Uラック	6850
ハイエンド	6Uタワー	6800
ラック	2U	2950
タワー/ラック	5U	2900

こういったアプリケーションを稼動する場合、サーバには極めて高いパフォーマンスとスケーラビリティが要求されます。企業のビジネスを推進していくためのアプリケーション、サーバ双方への依存度が高くなるため、マルチコアプロセッサ、大容量メモリ、I/O拡張性と最高レベルの信頼性・可用性・サービス性が必須要件となります。

Eメール、メッセージング



ラック	2U	2950
ラック	1U	1950
ブレード		1955
タワー/ラック	5U	2900
タワー	5U	1900

コミュニケーション・コラボレーションにおける生産性を左右するアプリケーションには、デュアルソケットのプロセッシングパワーが有効です。パフォーマンス当りのコストは最小に抑えられ*、またストレージ拡張性も十分に確保されています。

*2006年10月5日時点のTPC-CのPrice/Performance Version 5に結果に基づく。

High Performance Computing Cluster (HPCC)、Webファーム



ブレード		1955
ラック	1U	SC1435

これらアプリケーションは複数展開しているシステムを縦横に駆使し、分散パフォーマンスを統合融合させることで性能を引き出します。アプリケーションレベルで冗長化をコントロールするため、ラックサーバが最適です。

Webサービス



ラック	2U	2950
ラック	1U	1950
ラック	1U	SC1435
ラック	1U	860
タワー/ラック	5U	2900
タワー	5U	1900
タワー	5U	840

FTP・Webアプリケーションは、地球規模で散在するエンドユーザへのデータ配布を実行するため、極めて高いI/Oを必要とします。また、Webアプリケーションではより高いプロセッシングパワーが求められるため、デュアル構成プロセッサ、さらにデュアル/クアドコアのプロセッサで余裕の処理能力を装備しておくことがお勧めです。

ネットワークインフラストラクチャ



ラック	2U	2950
ラック	1U	1950
ラック	1U	860
タワー/ラック	5U	2900
タワー	5U	1900
タワー	5U	840

DHCP、DNS、ドメインコントローラ、ゲートウェイ、Microsoft® Active Directory®、セキュリティアプリケーションといったネットワークの統合維持の要を配する部分です。高いパフォーマンスと高可用性を確保して、ネットワークオペレーションの継続性維持が望まれます。

ファイル・プリント



ラック	2U	2950
ラック	1U	1950
ラック	1U	860
タワー/ラック	5U	2900
タワー	5U	1900
タワー	5U	840

従来からネットワーク上で必要不可欠な要素として存在しているのはリソース共有。これがないと組織の生産性や効率を高いレベルで保持することができません。結果的に大きくなるデータ量のやりとりには高いI/Oスループットが重要な役割を果たします。



消費電力低減へのアプローチ「Energy Smart」

さまざまな業務のIT化の進展とともに、企業内ではサーバ台数が増加の一途をたどっています。そして、これとともに電力コストが経営を圧迫する、さらには電力の引き込みそのものが追いつかないというケースが目立ち始めています。また、サーバなどの機器が消費した電力は「熱」に変わるため、空調設備の増強という問題も浮上してきます。当然、これらの空調設備もまた大量の電力を消費することになり、電力と熱の問題は、ますます悪循環に陥っていくのです。

この急務の課題に対してデルは、仮想化技術をもとにしたサーバ統合・集約に加え、サーバラーム全体からサーバ単体まで、トータルな解決策を提供しています。

エントリーからハイエンド、ペDESTALから超高密度まで、
ニーズに応えるサーバとStorage Server (NAS) をラインナップ。

				高密度				超高密度		
ソケット数	最大コア数	拡張性	冗長性 可用性	タワー	ラック			ブレード (7U)		
					5U	4U	2U		1U	
サーバ										
4	8	◎	◎	6800						
2	8	◎	◎	2900						
	8		◎	◎	1900					
	8	◎	◎	SC1430						
1	4	○	○	840						
	2	△	△	SC440						
Storage Server (NAS)										
2	8	◎	◎	2900						
	4	○	△	840						

※最大コア数は2007年2月14日現在 ※◎秀逸、○高、△低

69xx/29xx/19xx : 第9世代サーバ

● **サーバールーム全体の設備環境を見直す**

現在のシステムには、パフォーマンスを犠牲にすることなく消費電力を抑えるという、一見相反する2つの課題の解決が求められます。そこでは、サーバールーム全体の設計や保守体制の観点から運用を見直す設備環境のアセスメントが必要な場合も出てきます。こうしたニーズに応えるため、デルは「データセンターインフラストラクチャアセスメントサービス」を提供しています。このサービスを通じて、消費電力の低減はもちろん、セキュリティや災害対策まで幅広くカバーします。

● **サーバのポイントとなるワット性能比**

デルがサーバ単体レベルで追求しているのが、「ワット性能比」という考え方です。電力1ワットあたりのパフォーマンスを高めていくというアプローチで、必要なパフォーマンスを確保するための消費電力を低く抑えることができます。プロセッサのマルチコア化などによってワット性能比を向上し、従来ハイエンドサーバが用いられてきた高負荷の業務アプリケーションやデータベースなどが、2ソケットクラスのサーバでも十分に運用可能となりました。

● **低消費電力化を徹底したEnergy Smartサーバ**

ワット性能比のさらなる向上のため、デルではPowerEdgeサーバ製品の低消費電力化を目的として最適化を図ったEnergy Smart構成のサーバを提供しています。低電圧版のプロセッサはもちろん、消費電力効率の高い専用メモリ、電源ユニット、ファンを採用し、さらに消費電力効率の高い2.5インチタイプのハードディスクを搭載。また、省電力動作を行うためのBIOSを工場出荷時にあらかじめ設定してお届けします。これにより、Energy Smart構成のサーバは、標準構成の同一ファミリの製品に比べて最大25%*のワット性能比の向上を達成しています。
※デル社内の測定による

「デル第9世代サーバ」は新次元パフォーマンスへ。スケーラブル・エンタープライズは加速する。

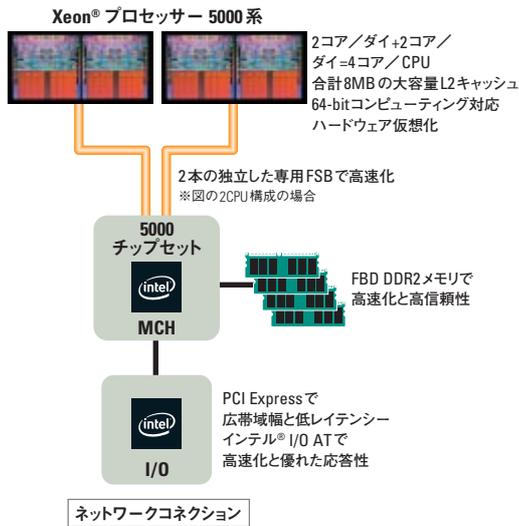
デルが一貫して提案する「スケールアウト」戦略は、市場が求める次世代の標準技術にフレキシブルに対応することで新たな側面を迎えます。デル第9世代サーバは、中長期的な展望に立ったパフォーマンスとハードウェア設計コンセプトを実装。優れた費用対効果、高いシステム性能と拡張性による「スケールアウト」を推進。企業・IT部門が必要とする有効な先行投資とシステム環境を確実なものにします。第9世代PowerEdgeサーバで採用した新しい業界標準テクノロジー。



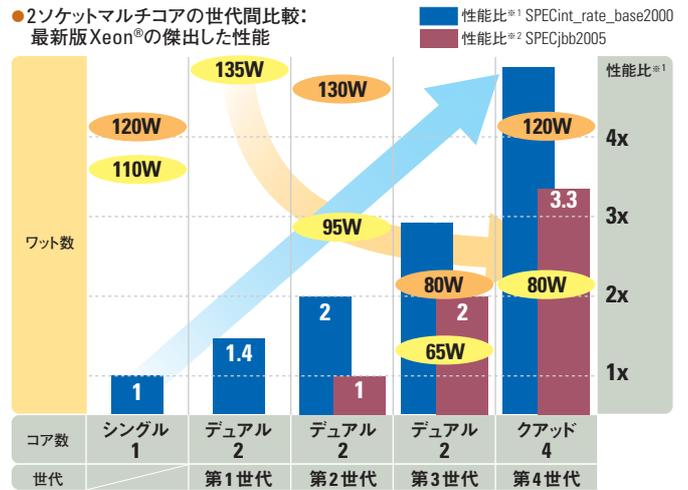
CPU

最新版クアドコアインテル® Xeon® プロセッサを全面採用し、システム性能とワット当りのパフォーマンスの飛躍的な向上を実現。ハードウェアVirtualization Technology (VT) 機能も利用可能。

●2ソケット クアドコアのキーテクノロジー



●2ソケットマルチコアの世代間比較：最新版Xeon®の傑出した性能



●マルチコアは何を可能にするか

マルチコア化でできることは？

- 大規模データセット、高負荷ワークロード対応
- 高いスループットの実現
- 徹底した電力消費効率化と低消費電力

- システム応答性と利用効率の向上、高密度化
- システム保全性と管理性の向上、集約・統合化
- 有効投資、ビジネス・業務の拡大、サービスの継続
- 企業、ビジネスが目指すもの、必要とする環境をマルチコア化が実現!

チップセット

最新版インテル® 5000Xまたはインテル® 5000Pを搭載。

メモリ

Fully Buffered DIMM (FBD) メモリはPoint-to-Pointシリアルインタフェースを採用、最大4.8Gb/s、従来の3倍のスループットでアクセスの高速化、また高信頼性化や大容量化が実現。

TOE

TCP/IP Offload Engine (TOE) 採用でホストCPUへの負荷を軽減する専用のプロセッサをNIC上に実装。iSCSI、データベース等大容量I/Oパケットのアプリケーションで有効。

SAS

SAS (Serial-Attached SCSI) はPoint-to-Pointのシリアルデータ伝送でドライブ個々がバスを占有することができ、HDD数を増やすことでさらに性能がスケール。

メカニカルデザイン

IT部門や管理者の利便性を最優先に、筐体設計、ケーブル・内蔵コンポーネントの配置等を従来世代から改善。運用管理性と共通性を強化、第9世代以降も継承。

●ハードウェアデザインの改善例

統一感を持たせたLCDやドライブ類、I/Oポート・コネクタ、電源等の配置 (サーバは上からPowerEdge 1950、2950、2900)



価格.com



価格比較サイト『価格.com (http://kakaku.com)』は月間約3億2300万ページビュー、約842万人の利用者数(2006年8月現在)に上る国内最大規模の比較検索サイト。その利用は右肩上りで増え続けている。その運営を担うため、これまでPowerEdge 6650をスケールアウトで導入してきた。

システムの拡張に伴い懸念されたのは使用電力量。サーバをマウントするラック当りのアンペア数を考慮すると、使用電力の少ないサーバが望ましく、かつ、高いパフォーマンスも維持される必要があった。そこで新たに導入するサーバについてコンペを実施し、採用されたのが第9世代のPowerEdgeサーバ。低消費電力、価格と性能のバランス、そしてサーバの安定性と汎用性が決め手となった。

選定された第9世代PowerEdgeサーバは1950と2950。コンペ時の最新デュアルコアプロセッサであるXeon® 5100番台(コードネームWoodcrest)を搭載したこれらサーバは、低消費電力で、懸念されていた電力量の問題を解決。かつ、4CPU搭載のPowerEdge 6650と遜色ないパフォーマンスをたたき出した。

システム増加に伴う必要電源の推移と比較

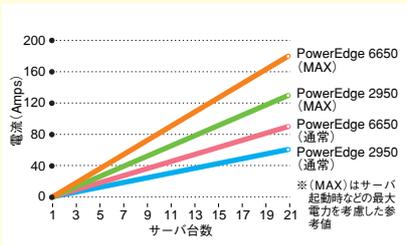
(Dell Datacenter Capacity Plannerでの算出値、1ラック当りのPowerEdge 6650搭載時のワット数を基準に比較)

サーバモデル名	台数	消費電力量	マルチコア搭載第9世代サーバの優位性
PowerEdge 6650	6台	4,428ワット	
PowerEdge 2950	6台	3,155ワット	従来使用の6650よりも低い消費電力
PowerEdge 2950	9台	4,733ワット	6650の時とほぼ同等の消費電力の場合、3台多く搭載可能

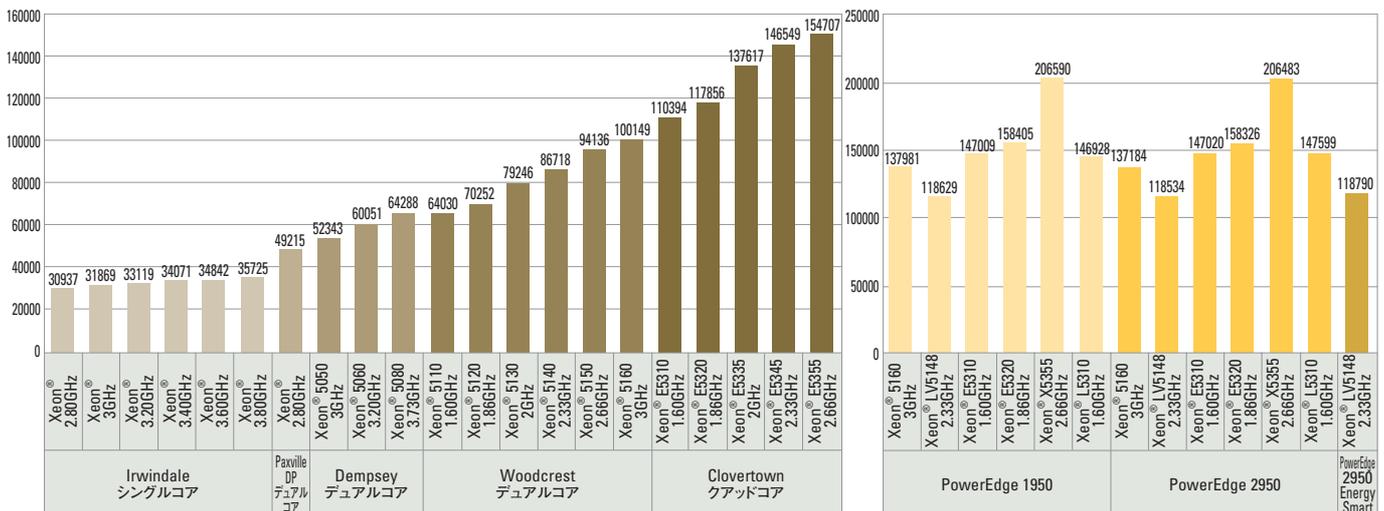
第9世代サーバの導入により、消費電力量とパフォーマンス維持の問題解決に加え、ソフトウェアライセンスの削減という便宜も同時に図られた。ソケット(プロセッサ)数単位の課金となるSQL Server 2000を使っているため、CPU当りのライセンス料が4CPU構成から2CPU構成になり、単純にサーバ当り半減。またサーバの機種入れ替えに伴い、SQL Server 2005への変更、また、エディションの変更も同時に検討すると、さらにライセンスにかかるコストを削減することも可能になってきた。

カカクコムでは、導入稼動してきたPowerEdge 6650の順次入れ替えを進めていく方針。ソフトウェアのライセンス料の削減を含めると2008年度末までに最大3,000万円のコスト削減が可能と見込んでいる。ビジネスの成長はインターネット事業の拡充を必要とし、それはサーバ台数の増加を招く。その解決策として、導入されたデュアルコアプロセッサ搭載のPowerEdgeサーバは、ハードウェア周辺の電力量と設置スペースの問題解決に加え、ソフトウェア周辺のコスト削減という効果をもたらし、一層の成長の基盤の整備を可能にした。

いち早くマルチコア化を推進してきた第9世代PowerEdgeサーバは、最新版マルチコアであるクアッドコアインテル® Xeon®プロセッサ 5300番台を2006年11月15日から搭載開始。1CPU内に実行コアを2基搭載するデュアルコアの2倍の4基の実行コアを搭載しつつ、消費電力はデュアルコアと同等。IT部門の抱える問題に対する回答はここに。



2ソケットラックサーバ SPECjbb2005



※ 2006年11月、デララボでの測定に基づくデータ。

※ 2007年3月、デララボでの測定に基づくデータ。

デプロイメント・監視・変更管理といった、システムの運用管理に必要なすべてのサイクルに適応した、総合システム管理ソフトウェア OpenManage™を提供。

ディプロイメント (導入/展開)

使い慣れた環境に新しいシステムやテクノロジーを取り入れる作業は、非常に負担がかかります。導入時にスタッフの生産性が落ちることも珍しくありません。そこでデルは、「すぐにセットアップ、すぐに運用」を実現する豊富なツール群をご提供致します。「Dell OpenManage ツール群」は包括的なディプロイメントソリューションとして定評があります。

Dell Server Assistant

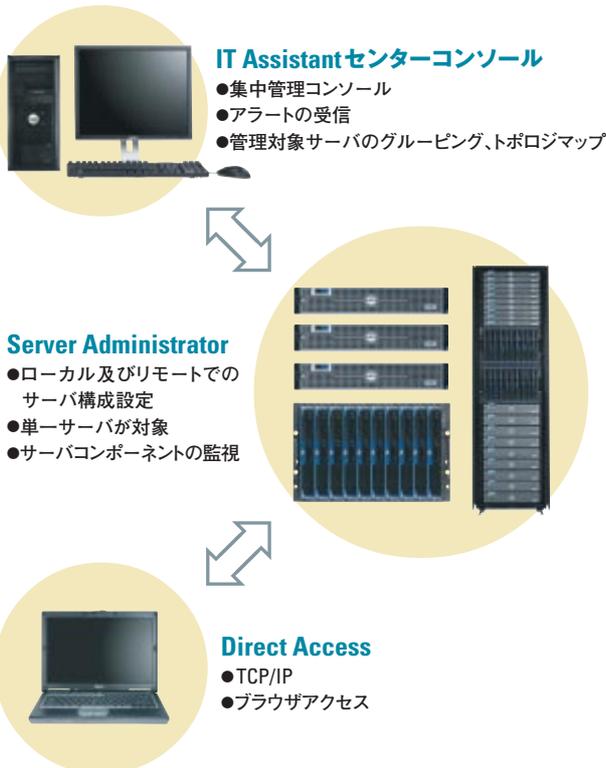
すべてのDell PowerEdge™サーバには、「Dell PowerEdge Installation and Server Management」CDを添付してお届けします。このCDには、コンポーネント/ソフトウェアのセットアップおよび構成ツールが含まれます。Microsoft® Windows®、Red Hat® Linux®などのオペレーティングシステムをインストールするときは、CDをご利用ください。インストール時間が大幅に削減できます。

サードパーティ製品との統合ディプロイメント・ソリューション

テクノロジー分野のリーダー各社とパートナーシップを結ぶデルは、その強みを活かし、ディプロイメント・ソリューション全体を円滑に管理することができます。ディプロイメント・ツールキットを使えば、新しいデル・サーバを導入するとき、また、既存のサーバを別の用途に導入しなおすとき、前回の導入手順や構成方法が流用できるのでとても便利です。

本ソリューションは、Microsoft® Windows Server™ 2003 Automated Deployment Services (ADS) や Altiris® 社の Deployment Solution と共にご利用頂けます。ADSは、従来の高速なイメージベースのインストール技術に、スクリプトの柔軟性を加えたものです。Windows® 2000 ServerとWindows Server™ 2003の高速リモート導入が可能です。また、Altiris® Deployment Solutionは、異種ハードウェア・プラットフォーム間、異種OS間のディプロイメントをサポートする統合ソリューションです。OSの導入、構成はもちろん、「パーソナリティ」(ユーザー固有のコンピュータ設定)の移行や、ソフトウェアの導入も可能です。

- OpenManageによるサーバ管理構成イメージ



モニタリング (監視)

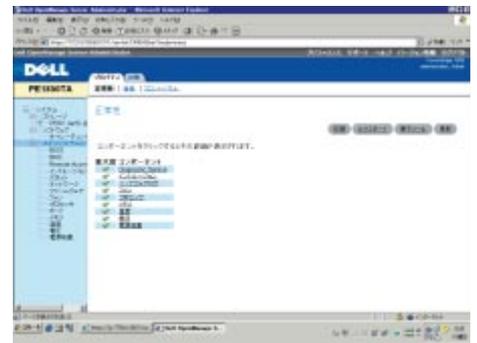
Dell PowerEdgeサーバの快適な連続稼働と可用性は、まずシステムレベルの監視から導入します。サーバのアラート機能やモニタリング機能、これらの監視は、お客様が希望するレベルで自動制御も可能です。問題を直接デルに自動通知するサービスもご提供します。業界標準ベースのDell OpenManage ツールなら、いつでも、どこからでもエンタープライズ・システムを管理することが可能です。PowerEdge製品ライン用に、包括的なサーバ監視・管理ソリューションが揃っています。

Dell OpenManage Server Administrator

Dell OpenManage Server Administratorは、Webベースの安全なツールです。データセンターのコンソールを通さなくても個々のサーバを直接管理することができます。コマンドラインインターフェースやWebブラウザからサーバの構成を変更したり、アップデートを実行したりと、様々な制御が可能です。また、サーバ内部の各コンポーネント、たとえば、CPU、ファン、温度などの状態を監視し、障害検知を行います。更には、ファームウェア、BIOS、ドライバなどのバージョンを調べ、最新版への更新もシンプルに実行可能です。また、調査機能も充実しており、サーバを変更したユーザーの追跡や、サーバのスロットにインストールされている周辺機器の調査、その他にサーバをシャットダウンせずに診断プログラムを実行することもできます。

Dell OpenManage IT Assistant

サーバ管理のためにわざわざデータセンターまで足を運んでいませんか?それなら、IT Assistantにお任せください。デルPowerEdgeサーバとクライアントシステムをリモートから監視・管理します。IT Assistantは、デル・プラットフォームを自動検出し、完全な自動イベント管理を可能にするコンソール・ソフトウェアです。プロアクティブなイベント通知機能で、電子メールにアラートを送信できます。



OpenManage Server Administratorによるサーバ監視画面

リモート・アクセス

IT管理者の方は、安全なデータセンターに隔離されたサーバや、ITスタッフの常駐していないリモート拠点のサーバも管理する使命があります。こうした業務は、効率よくシンプルに進めなければなりません。そこでデルは、DRAC (Dell Remote Access Controller) など高信頼性リモート制御ソリューションをご提供します。リモートビデオコンソール機能では、ハードウェアからソフトウェアまで、各管理タスクを遠隔地から実行することが可能です。リモートからの起動や、所定の手順を踏んだシャットダウンはもちろん、必要であれば、直ちにシステムをシャットダウンすることも可能です。

ローカル・システムのアラート機能と自動化

デルPowerEdgeサーバの豊富な機能は、リモート管理にとどまらず、ローカルのシステム監視機能も充実。たとえば、ステータスを知らせる「アクティブID」ランプや、エラーメッセージを表示するLCDパネルを見れば、ラック内サーバの稼働状態が一目でわかります。さらにシャーシの背面にも、インジケータを搭載。これが、正面のアクティブIDと連動して光るので、システムのどちら側にも、障害箇所がわかります。

総合的な RAID 管理

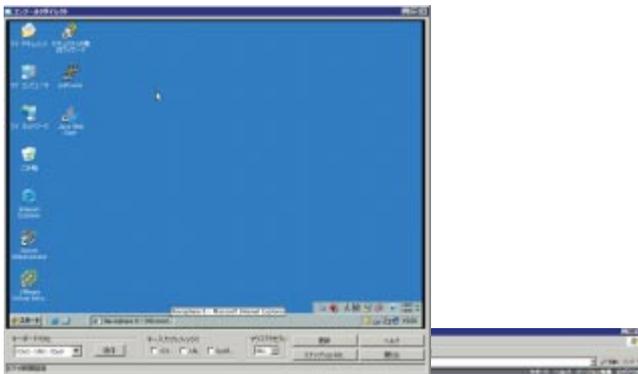
システムを円滑に運用するには、データの保護は欠かせません。デルは、RAIDを始めとする先進のデータ保護技術を取り入れることで、お客様の情報を守ります。RAIDの構成とメンテナンスは、時として複雑な作業が伴います。でもご安心ください。デルならRAID管理もシンプルに実行できます。Dell OpenManageには、ストレージ管理も統合されているため、サーバ内のストレージ・コンポーネントを自動検出し、イベントを取得することができます。このRAID管理ツールを利用すれば、サーバに接続されたストレージ・デバイスをローカル上でも、リモートからでも構成、管理することができます。その際、サーバをオフラインにする必要もありません。

資産管理

すべてのシステムが手元にあったとしても、IT資産を把握するには大変な労力がかかります。まして、システムがリモート（拠点）に分散していたらなおさらです。そこで活躍するのが、Dell OpenManageです。ITリソースを把握するための棚卸しに、是非ご活用ください。OpenManage IT Assistantは、1台～複数にわたるシステムのインベントリデータを収集し、該当する資産を抽出することも、インベントリレポートを印刷、または、ファイルにエクスポートすることもできます。ハードウェアの一覧情報にすぐアクセスできますし、NICの種類やアドレスも参照可能です。個々のサーバ単位でインベントリ情報を調べるのであれば、OpenManage Server Administratorもご利用頂けます。このように充実したデルのソリューションなら、状況に合わせて最適なツールが選べ、資産管理も柔軟に行えます。

エンタープライズ・システム管理製品との統合ソリューション

ITインフラストラクチャの拡張に伴い、効率的なサーバ管理ソリューションを必要とし、エンタープライズ・システム管理製品を導入するケースがございます。運用中の環境で、エンタープライズ・システム管理製品に注いだ投資を活かしながら、その機能をフルに活用するためには、サーバ管理機能も統合しなければなりません。そこでデルは、パートナー各社の協力のもと、エンタープライズ・システム管理アプリケーションからDell PowerEdgeサーバを管理するため、OpenManageとのプラグインをご提供します。たとえば、NRIデータサービスのeXsenjuや、日立製作所のJP1、Microsoft® Operations Manager (MOM) など、業界標準のシステム管理製品と統合可能です。



リモートビデオコンソールによる管理画面



リモート・アクセス管理画面

変更管理

ITインフラストラクチャの価値を最大限に引き出し、システムの可用性を保つには、Dell PowerEdgeサーバの変更管理をスムーズに進めなければなりません。オープンで柔軟なDell OpenManage for Serversは、既存のエンタープライズ環境にすぐ統合できるため、管理全般にかかる負担を軽減することができます。システムを常に最新の状態に保つことで、できる限りシングルイメージとしてプラットフォームを管理し、信頼性の高いインフラストラクチャの構築を手助けします。ハードウェアの変更管理も、OSやアプリケーションのアップデートと同様に、シンプルな操作で実現できます。

デル・アップデート・パッケージ (DUP)

OpenManageファミリの1つ、「デル・アップデート・パッケージ (DUP)」は、稼働を続けたいままシステム・ソフトウェアをアップデートするツールです。Windows®用とLinux®用があり、スタンドアロンのアプリケーションとして実行すれば、アップデートが適用されます。また、特定の条件を満たしているか確認するチェック機能も搭載。本ツールは、Dell OpenManage Server Administratorとの併用も可能です。さらに、業界標準のパッチ管理アプリケーション製品や、お客様が自社開発された変更管理ソリューションと統合して、アップデートを配布することもできます。

サーバ・アップデート・ユーティリティ (SUU)

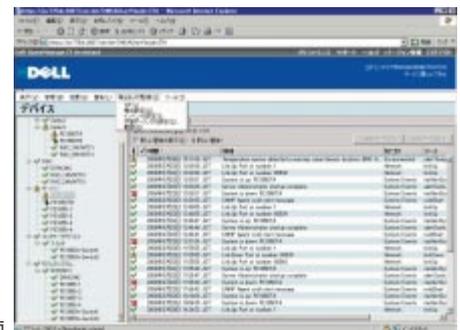
サーバにはBIOS、ファームウェア、ドライバなど、様々なコンポーネントが搭載されているうえ、これらを定期的に更新しなければなりません。その労力は大変なものです。たとえば、サーバに搭載されているコンポーネントとバージョンを調べ、最新版のシステム・ソフトウェアより古いものを抽出し、正しい更新手順に基づいてアップデートを適用する、といった手順が必要です。そんな負担を軽減してくれるのが、サーバ・アップデート・ユーティリティ (SUU) です。1台のサーバを対象に、最新のシステム・ソフトウェアを提供します。SUUを使えば、Dell PowerEdgeシステムに適用できるBIOS/ドライバ/ファームウェアのアップデートを特定、表示、または、自動更新することができます。

Dell OpenManage IT Assistant

IT Assistantは、ハードウェアの変更管理を一元的に自動化できる強力なツールです。サーバをいつでも最新の状態に保つことができます。BIOS、ファームウェア、ドライバのアップデートを複数のサーバに配布できるので、サーバの更新にかかる時間もコストも減らせます。アップデート処理はスケジューリングも可能。柔軟性がさらに増し、業務への支障を最小限に抑えることができます。

変更管理をシンプルにする、パートナーとの統合ソリューション

システム管理者の方は、サーバのOSとソフトウェアの維持管理に多くの時間を割かねばなりません。そこでデルは、Microsoft® Systems Management Server (SMS) 2003や、Altiris® Patch Management Solutionなど変更管理ツールとの統合ソリューションを提供します。ハードウェアからOS、アプリケーションに至るまで、包括的な変更管理のスキームが確立できます。



Dell OpenManage IT Assistantの画面

PowerEdge クラスタシリーズ

**x86サーバによる
クラスタリングソリューションを提供。
高いコストパフォーマンスでスケーラブルな
ミッション・クリティカル・システムの構築を
実現します。**

Microsoft Cluster Server (MSCS)

クラスタリングは、複数のサーバを接続（クラスタリング）し、システムやアプリケーションの共有をはじめ、耐障害性やパフォーマンスを向上させるシステム構成です。MSCSクラスタは、クライアントシステムから見ると仮想的な1つのサーバに見えます。MSCSがサーバの稼働状況を監視し、アプリケーションが動作しているサーバになんらかの異常があった場合には、対象のアプリケーションをクラスタメンバー間で動的に移動させます。データのバックアップなどのあらかじめ計画されたサーバのダウンタイム時には、手動でそれぞれのノード間でアプリケーションを移動することが可能なためサービスを中断することなく提供できます。MSCSは、動的かつトランザクションベースのアプリケーションサービスデータに高い可用性を提供しますので、ERPやeCommerceデータベース、グループウェア、メール、生産システムなどのミッションクリティカルなアプリケーションに最適な技術です。

データベースサーバ、Webサーバ、メールサーバなど主要なサーバアプリケーションおよびサービスには、格段の可用性、拡張性、信頼性が求められます。デルのPowerEdgeサーバは、ECCメモリ、冗長化電源、RAIDディスクなどを採用し、コンポーネントレベルでの可用性を確保。さらに、クラスタ構成にすることで、より一層の可用性、拡張性を実現。高価なマシンを購入しなくても、信頼性の高いシステムの構築やパフォーマンスの向上が可能です。

デルのPowerEdge クラスタシリーズは、ファイバーチャネルストレージDell|EMC CXシリーズを使用したFE-500シリーズとSCSIストレージPowerVault 220Sを使用したSE-500シリーズをご用意。サーバノードにPowerEdgeサーバを採用し、最大8台までのクラスタリング構成を実現。

PowerEdge クラスタシリーズの利点

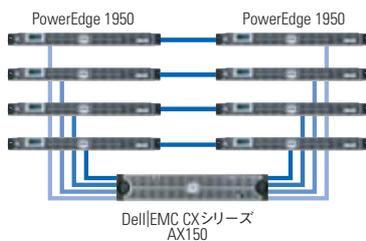
信頼性を安価に実現	デル・モデルにより不要なコストを一切削減した業界標準テクノロジーを常に採用したサーバを利用し、お客様の環境に最適な信頼性の高いクラスタ環境を提供します。
高可用性	クラスタがハードウェアの障害に迅速に対応できるため、ネットワーク・クライアントはシステムのサービスやリソースを使い続けることができます。何らかの理由でクラスタノードに障害が発生した場合は、クラスタ全体をオフラインにしなくても、該当ノードを修理、アップグレード、またはオフラインにしてメンテナンスすることができます。
冗長ストレージ	取り付けられているストレージコンポーネントには RAID や電源、インターフェース等の冗長化技術が実装されているため、ストレージシステム内のデータが保護されます。
障害の修復	何らかの理由でホストのクラスタノードに障害が発生すると、クラスタアプリケーションプログラムは正常なノードに移動されます。

FE-600W シリーズ (ファイバーチャネルクラスタ)

PowerEdge サーバと、ファイバーチャネルストレージDell|EMC CXシリーズで構成され、最大8台までのクラスタリングシステムを実現。高速・高信頼性のファイバーチャネルストレージにより、中・大規模のワークグループサーバ、ミッションクリティカルなデータベースサーバ、アプリケーションサーバなど広汎な分野に対応します。

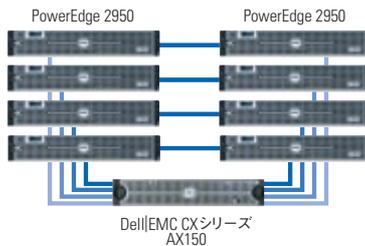
PowerEdge 1950 Cluster FE-600W/650W 小規模クラスタ (ファイバーチャネルストレージ)

インテル® Xeon® プロセッサ (最大2基搭載可能) を採用。薄型1Uサーバによる高密度かつハイパフォーマンス、高可用性を実現。



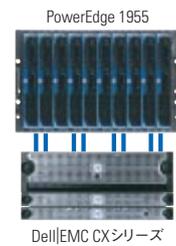
PowerEdge 2950 Cluster FE-600W/650W 高拡張性クラスタ (ファイバーチャネルストレージ)

インテル® Xeon® プロセッサ (最大2基搭載可能) を採用。オンライン・スベアメモリや冗長電源構成など信頼性を高める機能性にも配慮され、高可用性を求められるデータベース環境に最適。



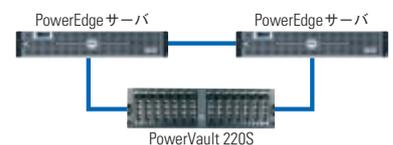
PowerEdge 1955 Cluster FE-655W ブレードサーバクラスタ (ファイバーチャネル)

インテル® Xeon® プロセッサ (最大2基搭載可能) を採用。ファイバーチャネルストレージと直接接続することで、ブレードサーバのもつ省スペース性を利用して、限られたスペースでマルチノードクラスタを構築可能。



SE-500 シリーズ (SCSI クラスタ)

お客様の用途によって選択が可能なPowerEdgeサーバ2台とSCSIストレージPowerVault 220Sで構成。PowerVault 220Sは、14台のホットスワップ可能なSCSI HDDを搭載でき、小規模なサーバから、ワークグループサーバレベルのファイルサーバ、メールサーバなどに最適なクラスタリング構成を提供します。

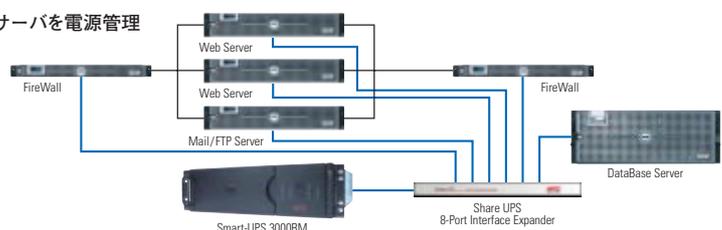


UPS 無停電電源装置

**PowerEdge シリーズの標準UPSとして
APC社のSmart-UPS®シリーズを採用。
電源トラブルによるダメージを最小限に抑え
サーバの可用性を向上。**

UPSは、サーバの電源をバックアップし、停電や瞬停、電圧変動等の電源トラブルからサーバダウンを防ぐ予備電源装置です。UPSを導入することでサーバの可用性の向上を図ることができます。デルでは、PowerEdgeシリーズの標準UPSとしてAPC社のSmart-UPSシリーズを採用。UPS管理ソフトウェアPowerChute Business Editionを使用することで更に高度な電源管理も実現し、ダウンタイムの軽減に寄与します。

●ラック単位で複数のサーバを電源管理



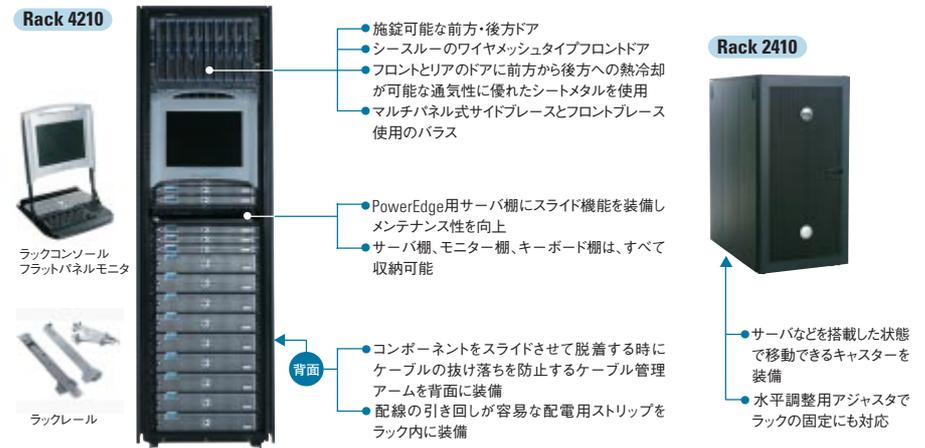
Rack Solution

**42Uと24Uのラックソリューション、
小規模から大規模まで
スケーラブルにシステム構築を。**

	PowerEdge	
	Rack 4210	Rack 2410
ラック高さ	1996mm	1200mm
有効EIA/TIA D-310ユニット数	42U	24U
ラック奥行き(前後ドア含む)	1000mm	1000mm
ラック奥行き(前後ドアを除く)	950mm	950mm
フロントドアフレーム	25mm	25mm
前後EIA/TIA フランジの間隔	730mm	730mm
EIA/TIAホール	スクエア	スクエア
最大搭載荷量	907kg	544.3kg

PowerEdgeサーバをはじめ、PowerVault、Dell|EMCストレージ製品をシステム構成に応じてフレキシブルに収容できるデル・ラックソリューションを提供しています。

業界標準規格に基づいて設計された24UラックのPowerEdge 2410ラックと42UラックのPowerEdge 4210ラックをサポートし、ラック1台の小規模システムから複数台を連結した大規模なシステムまで、スケーラブルなシステム構築に対応。セキュリティの確保、スペース効率の追求、優れた放熱効果や高い安定性、設置やメンテナンス、配線を容易にする高機能を実現しているデル・ラックソリューションで、設置・運用・保守性に優れたサーバシステムが構築できます。



コンソールスイッチ



コンソール (KVM) スイッチは、IT管理者が一箇所から複数サーバのコンソール (キーボード、モニターとマウス) の制御を可能にします。デジタルコンソールスイッチを利用すると、サーバラックのすぐ近く、あるいは、IPネットワーク (LAN/WAN) につながる世界中のどこからでもコンソールレベルの制御を行うことができます。また、一般的な管理はリモートからコンソールアクセスできることで、サーバスペースのセキュリティを向上させることもできます。

デル エンタープライズ アライアンス

お客様に最適なソリューションを提供するため、各分野のリーダー企業とアライアンス契約を締結し、共同で活動しています。

- 新規ソリューション開発
- 検証、ホワイトペーパーの作成
- システムサイジング、チューニング
- 技術者の交流、相互トレーニング
- セミナー開催
- サポート、問題解決
- 販売、プロモーション活動



デル ISV アリーナ



デル ISV アリーナとは、パートナー様のパッケージとデルのプラットフォーム製品を共同で開発し、未開拓顧客層へのビジネスを推進するための支援プログラムです。

直販モデルの強みを活かした情報のフィードバックや共同開催セミナー、オンラインビジネスの経験とWebを利用した販売プロモーションなどを展開し、各ISVの開発力、ソリューションの提案、販売を強化するWin-Winの関係構築を目指します。

ソリューションモデルの対象となる業種・分野は、教育、製造、銀行・証券・保険などの金融、官公庁、ヘルスケア/ライフサイエンス、小売、通信など多岐に渡り、各ISVが得意とするソリューション分野ごとにターゲット顧客層を設定し、企業ユーザーの業種・用途に応じ、ハードウェア/ソフトウェア/サービスをセットにした推奨ソリューションモデルを開発します。

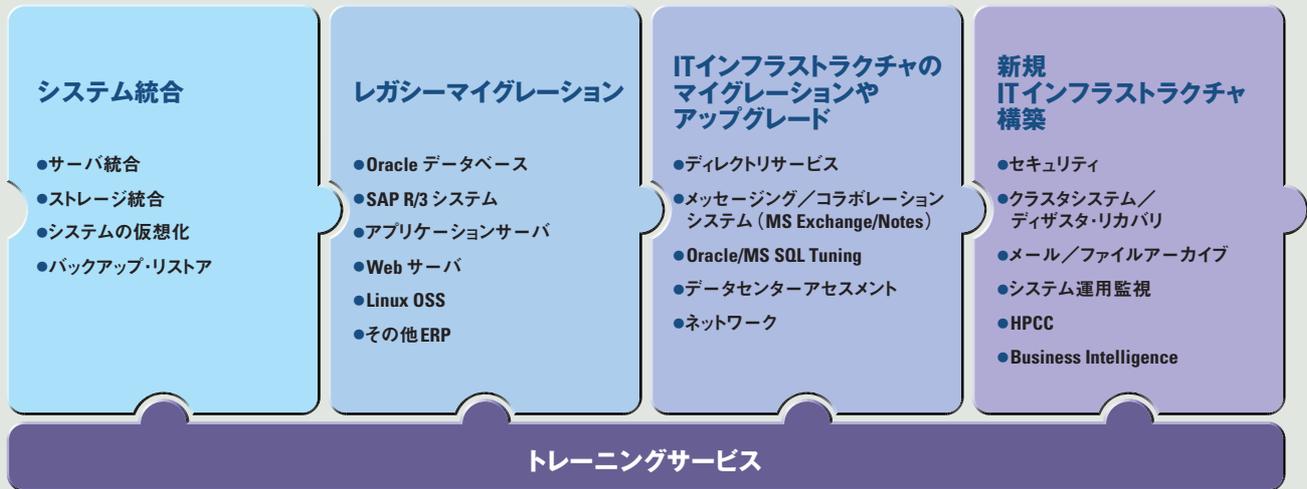
デルでは、プログラムに参加するISVの開拓や支援を、グローバルアライアンスパートナー各社と共同で行い、連携するISVの獲得・拡大を行っています。

ITインフラストラクチャにおけるお客様の課題を解決し、 短期間、低コストで高信頼性のシステムを提供するデルのITソリューション。

デル・プロフェッショナル・サービス (DPS) では、デルの根幹ともいえるデルのダイレクト・モデルによるお客様との直接のコミュニケーション、すなわち、お客様の声を直接お聴きして、製品やサービスにフィードバックすることで、きめ細かいソリューションを実現しています。お客様それぞれによって異なる問題や課題を十分に把握し、確実にソリューションに反映していきます。

デル・プロフェッショナル・サービス (DPS) ソリューション・エリア

ITインフラストラクチャのアクセスメント、設計、検証、導入、サポートまで、End to Endで対応します



ITインフラストラクチャのコアシステムにフォーカスしたサービス:

- サーバ・ストレージ・ネットワークなどエンタープライズ向けハードウェアを活用
- 業界標準のミドルウェア・アプリケーション・OS等にフォーカス (Microsoft, Oracle, Linux など)

デル・プロフェッショナル・サービス (DPS) ソリューション・ラインナップ

デルのコストパフォーマンスにすぐれたハードウェア製品および各分野のリーディング企業とのアライアンスをベースとした共同活動により、厳しい経営課題にさらされているお客様の課題を短期間、低コストで解決するITコンサルティングサービスを提供します。

サーバ&ストレージ・コンサルティング

DELL|EMCストレージを中心とした高可用性システム、システム統合、マイグレーションやディザスタリカバリシステムのご提案

VMwareによる仮想化ソリューション

VMware ESXサーバとDELL|EMCストレージを組み合わせたサーバやレガシーOSの統合、システム運用の柔軟性向上

CASによるアーカイビングソリューション

コンプライアンス、情報ライフサイクル管理に最適なEMC CenteraとDiskXtenderやSymantec EnterpriseVaultの組み合わせ

Microsoft®エンタープライズソリューション

Microsoft® Windows Server™ 2003とファミリー製品であるExchange、SQL ServerやSPSSの組み合わせについてご提案

システム管理・運用ソリューション

システム運用管理、展開を支援するMicrosoft SMSやMOM2005 NRI eXsenjuや日立JP1などの製品のご提案

統合セキュリティ・ソリューション

Windows Server™ 2003のアクティブディレクトリによる強固な認証機能を土台とし、各種セキュリティ製品を組み合わせるご提案

セキュア・アクセス・ソリューション

Citrix Access Suiteによる利便性とセキュリティの向上を両立させたりリモートアクセス環境構築のご提案

デルThinPCソリューション

標準ベースのディスクレスクライアントであるデルThinPCの展開による情報漏えい防止、ユーザデータの集中管理とPC操作性の維持

Oracle® エンタープライズソリューション

ORACLE DBの性能ボトルネックの調査から、高可用性で高性能なRAC設計と構築、バックアップ、セキュリティ強化、管理のご提案

ERPソリューション

大企業向けのmySAP ERPのプラットフォーム設計、構築から中堅、中小企業向けの短期導入パッケージ製品のご提案

HPC (High Performance Computing Clusters)

標準IAサーバであるPowerEdgeサーバを数10台から数千台並列接続させたスーパーコンピューティングソリューションのご提案

DCIA サービス&ファシリティ構築サービス

大規模システムを収容するためのデータセンターの電源、冷却、耐過重等のキャパシティ診断とファシリティ拡張工事のご提案

DELL|EMC SANヘルスチェックサービス

新規にご導入いただいたDELL|EMC SAN環境において、エンジニアが定期訪問し、安定稼働を妨げる要因、障害の予兆等の有無を調査

デル・プロフェッショナル・ラーニングサービス

デルエンタープライズ製品に関する製品知識や運用スキル習得に適したトレーニングをご提案

エンタープライズ製品専用最適化したきめ細かなサービスメニューで
アップタイムの最大化とTCO削減にお応えする充実した保守サービスを提供しています。

エンタープライズ・サポートパッケージと標準サービス内容

対象製品: PowerEdge 製品				
標準 翌営業日対応による オンサイトサポート	中度 当日4時間対応による オンサイトサポート	中高度 ゴールドTAM ^{※3} による 障害エスカレーションマネジメント	高度 プラチナTAM ^{※3} による プロアクティブなプランニング実施	アップタイム
シルバー NBD ^{※1}	シルバー 4H ^{※2}	ゴールド	プラチナプラス	カテゴリ
			アカウントプランニング	プロアクティブ リレーションシップ
			定期訪問 (標準で年2回)	
			月次障害サマリレポート	レポートिंग
		ゴールドTAM ^{※3}	プラチナ専任TAM ^{※3}	TAM ^{※3}
		Open manage CD自動送付サービス	Open manage CD自動送付サービス	変更通知
	エンタープライズ・ コマンドセンター	エンタープライズ・ コマンドセンター	エンタープライズ・ コマンドセンター	
コラボラティブサポート (電話取次サービス)	コラボラティブサポート (電話取次サービス)	コラボラティブサポート (電話取次サービス)	コラボラティブサポート (電話取次サービス)	テクニカルサポート
ダイレクトライン (ソフトウェア電話サポート)	ダイレクトライン (ソフトウェア電話サポート)	ダイレクトライン (ソフトウェア電話サポート)	ダイレクトライン (ソフトウェア電話サポート)	
ハードウェアテクニカル電話サポート (24時間365日)	ハードウェアテクニカル電話サポート (24時間365日)	ゴールド専用電話サポート (24時間365日)	プラチナ専用電話サポート (24時間365日)	
翌営業日対応 オンサイト	24時間365日当日4時間 対応オンサイト	24時間365日当日4時間 プラス対応オンサイト	24時間365日当日4時間 プラス対応オンサイト	オンサイトサポート
3年間パーツ保証	3年間パーツ保証	3年間パーツ保証	3年間パーツ保証	パーツ保証
代替機	ファイル・プリントサーバ テスト/開発	Emailシステム Virtualization	データセンタ/DPS 複雑なシステム環境	推奨システム

対象製品: PowerEdge SC 製品			
標準 翌営業日対応による オンサイトサポート	標準 (オプション) 翌営業日対応による オンサイトサポート	中度 当日4時間対応による オンサイトサポート	アップタイム
スタンダード NBD ^{※1}	Night & Weekend <small>スタンダードのオプションメニューとなります。</small>	アドバンスト 4H ^{※2} 6×8	カテゴリ
		エンタープライズ・ コマンドセンター	
ダイレクトライン (ソフトウェア電話サポート)	ダイレクトライン (ソフトウェア電話サポート)	ダイレクトライン (ソフトウェア電話サポート)	テクニカルサポート
ハードウェアテクニカル電話サポート (24時間365日)	ハードウェアテクニカル電話サポート (24時間365日)	ハードウェアテクニカル電話サポート (24時間365日)	
翌営業日対応オンサイト 受付: 月~金、9~16時 / 作業開始: 月~土、9~17時	翌営業日対応オンサイト 受付: 月~金、9~16時 / 作業開始: 月~土、9~20時 / 日祝、9~17時	当日4時間対応オンサイト 受付: 月~土、9~17時 / 作業開始: 月~土、9~20時	オンサイトサポート
3年間パーツ保証	3年間パーツ保証	3年間パーツ保証	パーツ保証
代替機	ファイル・プリントサーバ テスト/開発	ファイル・プリントサーバ テスト/開発	推奨システム

※1: NBD = 翌営業日対応オンサイト保守サービス ※2: 4H = 当日4時間対応オンサイト保守サービス ※3: TAM = テクニカル・アカウント・マネージャ
 ※エンタープライズ・サポートパッケージの詳細は「エンタープライズ製品 保守サービス総合カタログ」をご覧ください。
 ※標準メニューのほかにオプションメニューもご用意しています。詳細は担当営業、またはホームページ (<http://support.jp.dell.com>) にてご確認ください。

Dell | PowerEdge

Server Storage Server

●HDD（ハードディスクドライブ）の容量は実際に使用する場合、使用環境により表記容量と異なります。●本カタログに使用されている製品写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。●構成や仕様により、提供に制限がある場合があります。詳細は弊社営業にお問い合わせください。●PowerEdge、PowerVault、OpenManage、DELLロゴは、米国Dell Inc.の商標または登録商標です。●Intel、インテル、Intelロゴ、Pentium、Pentium Inside、Xeon、Xeon Inside、Celeron、Celeron insideは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。●AMD、AMD Arrowロゴ、AMD Opteron、AMD Opteronロゴ、ならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。●Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、SQL Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●Oracle、Oracle Real Application Clusters及びOracle Databaseは、米国オラクル・コーポレーション及びその子会社、関連会社の登録商標又は商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標の可能性があり。●その他の社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。●本カタログに記載されている仕様は、2007年4月27日現在のものであり、予告なく変更する場合があります。最新の仕様については、弊社営業またはホームページにてご確認下さい。



www.dell.com/jp/

デル株式会社 〒212-8589 川崎市幸区堀川町580番地ソリッドスクエア東館20F Tel.044-542-4047



古紙配合率100%再生紙を使用しています。